賀正　新年特集号

発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5454－5

ひかり

新春を迎えて
＝誠意と努力の年＝

町長　深田三郎

明けましておめでとう存じます。

町民各位には昭和三十五年も益々御健勝にわたらせられますと共に不肖私にも倍旧の御支援を賜わりますよう広報「ひかり」新年号紙上よりご挨拶申上げます。

過ぎ去りました年を顧みますと皆様の深い御理解と御協力の下にとうやらここまで歩を進めて参りましたものの文字通りよちよち歩きの感で、我ながら歯がゆい思いと申すのが本心で御座います。

三十四年度は光町建設計画の第一歩として「有線放送の実施」に踏み出しました。これは町村合併以来の念願でありました「町内通信連絡の一元化」であり一日も早く完成させたいと努力中であります

さて、昭和三十五年度の事業方針としては、㈠教育施設の拡充　㈡産業道路の整備を二大眼目とする決心です。教育の振興産業の発展はわたくし立候補の際のお約束で「教育施設の拡充」「産業道路の整備」はその具体化であります。

一　教育施設の拡充について

三十五年度の教育施設の拡充として最も大きなものは「中学校統合」の念願であります。現在のままの規模ではどんなに施設を充実し教育効果をあげたくとも実際には不可能と思います。そこで、どうしたなら「中学校統合」が実現でき子供らが幸福になり次代の光町を、日本を背負う若人育成がなされるか？

この解決はひとり町長、教育委員のみならず、父兄及び関係者みなさんの全責任であります。微力ではありますが全力を傾注してこれが実施をはかる決意でありますので今後とも絶大なご協力を懇請申上げます。

二　産業道路の整備について

産業発展策の中で最も公共性の強いものは産業道路の整備でありますが、このことは個々の力のみでは全く不可能であります。

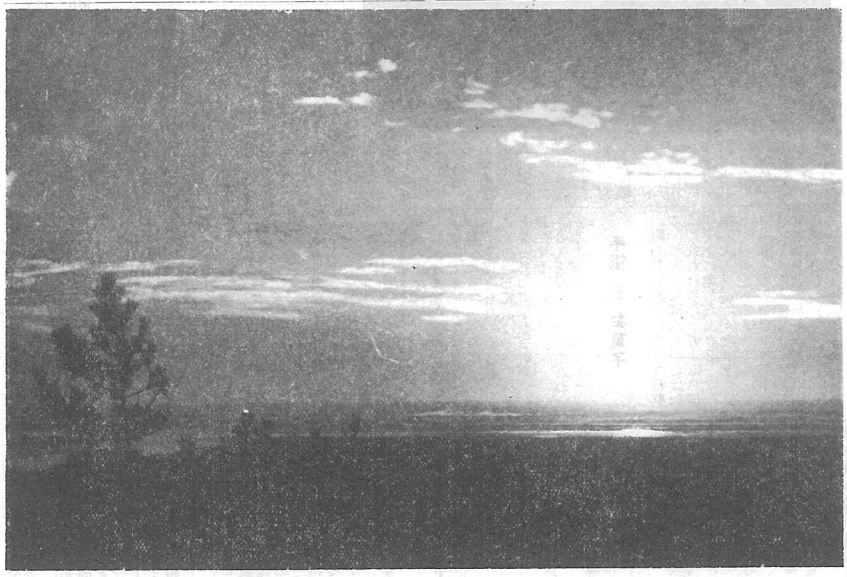
道路整備に当ってはどこまでも一貫した計画を樹て、一部分に偏することなく、四隣市町と充分な連けいをとって恒久性のある道路整備の実現を期したいと考えます。またこの整備計画は統合中学通学道路と結び併せて計画することによって得るところ甚だ多いと信じます。

三　その他の事業について

このことについては、三十四年度中の事業で未完成のものを整理しつつ、「新町建設計画」「新農山漁村建設計画」と併せ実施に運ぶ所存であります。

「新町」については既に有線放送で計画実施の第一歩に入りました。「新農」は本年三十五年度に指定をうけることになっておりますので、これ又、充分に皆さまのご希望をとり入れて計画実施に移したいと考えます。

以上本年度の事業方針の大綱を述べましたが、いづれにいたしましても、微力な私でありますが皆さんのため、町発展のため格段の御指導とご協力を願い誠心誠意全事業の完遂に体当りする覚悟で御座います。



初日に映ゆる九十九里浜　（西沢豊彦撮影）

希望に輝く春
昭和三十五年

町議会議長　伊藤幸太郎

希望に輝く新年を迎え、広報紙上より皆さんにお祝いの言葉を申し上げますことは、私のまことに喜びに堪えないところであります。

昨年はからずも議会議長の重責を担うに及び大方町民各位の御鞭撻と御支援により大過なく今日を迎え得ましたことは、議員諸賢、町当局者の深い御理解と御協力と併せて感謝に堪えないものを覚えます。

さて本年度も「新町」「新農」計画の推進と「中学統合」問題「産業道路の整備」等幾多の重要施策が議会分野において慎重審議を要請されることとなりましょう。これらの事業は御存知のごとく一つに当町の発展と住民の福祉増進のため成し遂げたいものであります。

このため、我々議会人は町民の衆智を集め、良識に基いて判断いたしますと共に、これらの審議の経過並に結果は出来るだけ町民の皆様に知って戴く為めに「広報」に掲載し町の情況を理解納得して戴き度いと存じます。

やがて私達の念願する各種事業がスクスクと芽ぶき輝く陽光を浴びる壮観を想うとき私はこころからこの平和と希望に満ちた光町に住み、かつ働くことの幸せを思わずにはいられません。

実に今年こそは輝しい年となることを祈念して年頭の御挨拶といたします。

規律と自由

寄稿　向後英一

私達の学生時代よりずっと前の話、東大の構内に芝生を植えて、これを柵で囲ってその中の通行を禁止したそうです。ところが大部分の学生がその真ん中を横切って通るので、そこに自然の通路ができてしまった。これを聞いたあるイギリス人の教授が、通路ができてしまったのは、そこを通るのが最も便利で自然だからなのだから、一そのことをそこを道にしたらいいではないかといって、とうとうそこに道を通してしまいそのために芝生の他の部分は立派になったといいます。これは人々に不自然な無理なことを要求しても、それは徒らに一種の犠牲を出すだけだということの証拠でしょう。

ある会合で席を隣り合った元法相の岩田宙造博士から伺った話にこんなのがあります米国の士官学校ウエスト・ポイントは、規律が厳重なので有名である。余り厳格すぎるというので父兄会の名で校長に対してもっと寛大にするように要請をした。ところが生徒達は反対に、「規律はあくまで厳重にしておいて欲しいと申し出た。その理由は、我々はやがて士官となって幾百幾千の貴重な人命を預ることになるのだから、規律はどんなに厳格であってもすぎることはないというのだったそうです。

人の上に立って事を行うものは、できるだけ無理のない自然な方途を選ぶ。そして、一般の人々が規律を守ることになれば、萬事がうまく行きましょう。民主々義の力も発揮できるというものです

いつか読んだあるイギリスの人の言葉に次のようなのがありました。これをとくに若い方々にお伝えしたいと思います。

「自由とは、他人から規律を強いられないように、自分自身で規律を守る権利である」

向後英一先生は光町橋場の人、現に毎日新聞論説委員として活躍しこの度米国視察の招聘により昨年十一月八日渡米、二月中旬に帰国される予定で出発前の多忙な時間を「ひかり」のため稿を寄せてくださいました。（係記）

謹賀新年

議会

議長	伊藤幸太郎
副議長	伊藤松之亮
議員	越川増荒男
〃	大堀謙治
〃	越木喜代
〃	土屋方吉
〃	鈴木英菊
〃	行沢正隆
〃	林田又栄
〃	深木新政
〃	岩本亮
〃	大島一
〃	鈴木一
〃	川名保
〃	伊橋一
〃	飯田治
〃	椎名雄
〃	伊藤治
〃	竹内衛
〃	林木夫
〃	大田一
〃	市原治
〃	吉田一
〃	木内就
〃	田中章
〃	小川雄
〃	椎名松
〃	伊藤司
〃	吉田英
〃	木内治
〃	名田男
〃	橋本治
〃	田木衛
〃	小川夫
〃	椎名一
〃	堅田一
〃	睦政治
〃	清一
〃	慎
〃	伝兵
〃	節
〃	栄政
〃	隆
〃	亮
〃	新又
〃	正
〃	英
〃	菊
〃	代
〃	謙
〃	治
〃	郎
〃	亮
〃	郎
〃	治
〃	衛
〃	夫
〃	一
〃	一
〃	一
〃	雄
〃	治
〃	郎
〃	司
〃	止
〃	夫
〃	重

謹賀新年

監査委員	向後忠一
教育委員会 委員長	実川朋治
〃 委員	椎名清二郎
〃 〃	越川猛一
〃 〃	大木才
教育長	飯田栄
選挙管理委員会 委員長	加瀬益雄
〃 委員	小川克已
〃 〃	喜浅市喜治
〃 〃	藤野原島一
〃 〃	孝栄平
農業委員会 会長	佐久間幸
〃 委員	鈴木将治
〃 委員	布施邦夫
〃 委員	斎藤新一郎
〃 委員	飯田之助
〃 委員	林邦治
〃 委員	越川将
〃 委員	越鈴木一郎
〃 委員	越川吉沢一郎
〃 委員	越木山潤
〃 委員	越木伊藤義
〃 委員	越蕨橋陽一力
〃 委員	越蕨伊藤次和
〃 委員	越蕨椎名源之助
民生委員推薦委員会 会長	青柳要三郎
〃 委員	同
民生委員	平山秀樹
〃	増島利一
〃	布施喜一郎
〃	岩本要
〃	佐久間治
〃	向後栄治
国保運営協議会 会長	石川忠一
〃 委員	市川徳
〃 委員	小林重
〃 委員	伊藤真
〃 委員	伊藤八郎
〃 委員	伊藤喜一
〃 委員	椎名代雄
〃 委員	椎名千
〃 委員	大橋村
〃 委員	木浦寛
〃 委員	飯田政治
屠場運営委員会 委員長	飯田治
〃 委員	飯田一
建設審議会 委員長	椎名弘
〃 委員	椎名一
固定資産評価審査員	馬場太郎之進
〃	森雄蔵
消防団長	越川伸
青年団長	林優

（順序不同、兼職者は一方記載）

新鋭自動車ポンプ配置

消防活動に偉力

本部機動力の強化を計画してゐた消防団本部に昨年十二月四日、新鋭の消防ポンプ自動車が配置された。

ポンプは日本造機株式会社の製造になるもので車種は二一一五馬力、ソフト吸管、トランヂスタースピーカー等を備えた最新の精鋭である。

購入価格一五九万円。

消防団本部は新鋭ポンプの配置によりその全機能を発揮すべくこの程地元の橋場第一機種については予ねて団本部で各種ポンプの性能を調査し日本の優秀メーカーである日本造機を選定し旧蟻十二月四日到着引渡しがなされたものである。

さきに日吉地区新井分団に同種の自動車ポンプ白浜地区に已に三輪車ポンプがあり町の消防力が一段と強化された次第である

不測の火災に対しては機動力の活動によりその損害を最少に防ぐと共に、尚町民各位が注意に注意を重ね火事は消すより出さぬ様、未然の防止を心掛け今年こそ火事のない光町の実現を年の初めより呉々も心掛けられる様望むものである。

砂にえがく

えん〳〵とひろがる砂浜と緑帯、限りない海原。私たちの九十九里ほど美しく雄大な海岸は世界にも稀れである瀬戸内海の美しさが女性美なら白の浜の景観は正に逞しい男性美である。栗山川に漁港ができて出船入船に賑う町が生れ海岸ホテルや海浜学校が建ち、ヘルスセンターがつくられる、ホテルの食堂にほ名物のハントンなまゾヤモ美酒が並んで灘ならぬ篠緑の一片瀬や千葉の海岸は人影もまばらだが光ビーチはいつも満員！

「町税はとらないそうだ」

こんな噂が電波にのって砂一升金一升の海岸地帯がやがて誕生するという。

「たんと夢みたいな話だね」

「当り前だよ今年は黒年」。

手帳とお菓子

町の社会教育の大きな行事の一つとして成人式が行はれ二十才に達した人々を一堂に集め大人になった事を自覚し、みづから生き抜こうとする青年を祝いはげます行事である。此の下準備として過日社教幹事会で行事内容について論じ合った。

毎年成人者に手渡される成人手帳。手帳の中は全く青年の為になる記事が数多く記されてゐる。

しかしどの位の人が贈られた手帳を読むかと疑問を投げかけた。成人は少くとも三分の一の青年は読むと云い、又ツトに秘蔵されたまゞだと云ふ。中には手帳より贈られた菓子の方が有難く感じるのではないかと……、

真心込めて贈られた成人手帳を良く読んで呉れ、漫画や笑話は無いけれど人生の幸福となる道標があるからだ。

我々は次代の町を担ふ青年達に、老婆心ながら、かくも考えかくも要望したい。

我々は全部の青年が読む事を信じたい。

民生委員きまる

去る十一月二十八日開催の推薦委員会の結果左の諸氏が民生委員に推薦され十二月一日発令された。

記

平山　秀樹　○橋浦　照寛
増鳥　利一　○大木　村治
土屋　正明　○伊藤　茂
○布施　喜一　椎名千代寿
布施　要　伊藤　光雄
○岩沢治太郎　○伊藤　喜一
佐久間安治　○伊藤　八郎
飯田伊之助　○伊藤　真一
○向後　忠一　○小林　喜雄
○石川　栄治　市原　進
（○印再任）

連載　新町建設を語る

一　新町建設とは

（一）

A　新町という意味はどんなことですか。

B　昭和二十八年町村合併促進法が公布され、それぞれの町村はこの法律の目的に添うべく二以上の町村区域の全部若しくは一部をもって町村を離れ、新町村建設計画を樹て、その実施に当って来ました。

ところが昭和三十一年新市町村建設促進法が公布されこの法律で従前の合併町村が新しい建設計画を樹て直し、新市町の健全な発展を図り地方自治の本旨の充分な実現に資するよう努める町ということであります。

A　では合併当時建設計画を樹て実施して来たものをなぜ更めて建設計画を樹て直す必要があるのですか。

B　御承知の通り合併当時の建設計画は旧村各々が持ち寄った案を中心とし検討した。そして先ず第一の事実として町全域に有線放送電話の架設を計画し、町民多数の御賛成を得て実施に入りました事は、御承知通の健康な毎日を送れるよう地方自治本来の目的を達成するためであります。

二　本町の現況は

A　本町の新町建設計画はどのように進められておりますか。

B　私達の町は本年度新町建設計画の指定を受けました。第二の大きな事業としては中学校統合の問題でありますが、これも教育委員会を中心として部落座談会を開き、広く町民の御意見を聞き、計画樹立の参考とし、最も理想的な然も教育効果百パーセントの学校建設が出来ようと関係機関は勿論町民各低の御協力をお願いします。

前に申し述べた通り建設計画の中に今後の事業は盛られる事となるので、ありまして、従って只今建設計画策定事務も着々と進められておるのであります。

（続く）

光町広報発刊四週年を迎えて

編輯委員長　光町助役　鈴木　実

光町の皆さん新年御目出度う御座います。

旧年中は種々御指導御支援賜りまして誠にありがたく厚く御礼申し上ます。

本年も皆さんと共によりよき歳を迎えたいと願う次第です。当光町も合併以来議会議員各位並に町各種団体代表の御支援を賜り達年ごとに改善されつつ町政も運営されている状況です。特に光町としては各種事業が計画立案され新町建設、新農山漁村振興対策、学校整備、伝染病棟建設計画等事業内容を町民の皆様に御諒承願ひ、御支援御協力を願わねば出来得ない事業ばかりです。

町の計画方針を御伝するにも町民全般の方に個々に逢って御承認賜ることが困難なので広報を通して御願する次第です。

広報も発刊以来四週年を迎いましたが、編集係も担当時間以外に種々研究して紙面の組み方、又如何にしたら最もよく町内の皆さんに発表出来又喜んで読んで戴けるか創意工夫を行って発刊するのですが、専門家でないため思うように出来ません。町民各位の御批判を賜り尚一層の内容充実した広報と致したい念願です。私達は町の公僕である以上町民の一人一人が主人公であるので今後町政運営全般に亘り町民の希望並に意見等多数投稿して戴き又発表も願ひ町運営の指針とし正しく計画実施致したいと考えますので、今後共たに分御指導御助言賜り益々広報発展を希望する次第です。

発刊四週年新年号を皆様のお手許に送るに際し愚見を述べて御挨拶といたします。

町営住宅入居者選考終る

この程新築になった宮川、橋場、桑郷各団地住宅の入居申込者は応募者多数の中から左のとおり選考された。

第一種

高橋　俊夫　土屋　稔治
大木　文雄　島田　治代
布施　精一　掛川　竹好
渋野　忠雄　宮間　進
稗田芙路夫　星野　宏明

第二種

椎名　隆　川島　利弘
伊藤　や寿　三郎　功男
鈴木　中　菅原　清人
越川　清人　鈴木　具視
大木偉太郎　士屋　四郎
伊藤　良一

新村の振興計画樹立推進について

俗に云はれてゐる「新しい村づくり」の在り方については今迄に機会ある毎に説明会や広報で御知らせした通りであって、当町は明治三十五年の概ね五月に地域の本指定を受け向ふ三ケ年に亘って補助と融資のある特別助成事業を実施することになってゐます。

折角協議会としては十二月に入ってから振興対策事業を中心とする地区別の説明協議会を開催し尚御要望により部落の研究座談会を開いて生産農家皆さんと共に成可利用度の高い補助の広いそして地域漁村振興協議会を結成いたし円滑な運営と事業の推進を目途にいろいろの基礎的な調査をたしいよいよこれから部落単位或は地区、町を事業主体とする振興事業計画を樹立すべく切なる時間を迎えたのであります。

従て本年九月予備地域の指定を受けて以来明年三月迄にすべての調査や計画等の準備行動を行う期間になってゐるので早速各関係階層の代表者を以って構成する光地域農山村づくり振興計画樹立推進委員会を開催し、農家皆さんの根本目的は上り進歩的な農村を作ることであって現在の生産条件流通利用満程生活様式等の実態を見極めて先ず進化の程度をとり戻すとより更に時代に目覚健実な農業経営が行われるために振興対策事業を通じて一般水準の向上がねらいであります。

要は今後の村づくりは「人づくり」と云はれてゐる通りとりわけ「共同の力」の培養が絶対に必要であって常に協力一致援護しあって本事業達成のため推進して戴くことを特に強調いたします。

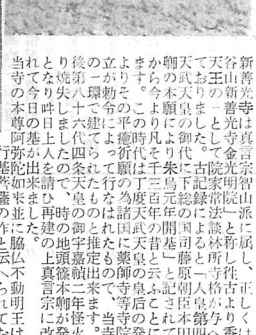
町議会

町長　深田三郎
助役　鈴木実
収入役　伊藤兵司
総務課長　椎名浩
産業課長　林信一
税務課長　伊藤隆夫
保険課長　向後末治
農地主事　林正二
東陽病院長　村上泰邦
〃事務長　鈴木央
教委事務局長　向後三郎

舊跡めぐり

新善光寺について

写真　新善光寺山門
仁王尊



新善光寺は真言宗谷山新善光寺と称し、正式には「瞰天王の一寺金剛院家常法一談所」と記録されるとの事です。

古院常格が寺格へ代わり、第一下記総司国藤原朝臣田善明基」と記されている。

天武天皇の御代に建立されたと云ふ。

聊かの本願により朱鳥元年の開基と云ふ。

今より千百年の昔、天武天皇の御代に建立されたと云ふ。

きます。

こゝの時代は丁度天武天皇の御代に当寺もそのころ立ガ勅令によって行われたとされる。

後第八十六代の天皇の御宇嘉祐二年に建立されたとも云ふ。

とり焼失し、再時の地頭籤本二年怪火によって

当寺の今日迄請ひ上げ出をされ

本日来並に

阿弥如来並に脇

薬師作と伝

菩薩不動明王は共に

行基作とされております。

更に山門及び仁王尊は鎌倉時代の作と云はれております。

寛政九年山門を残して全山再焼失し、中興開山天慧為法印再住して復興し、伽藍整然たる寺三十二ケ寺を取り沙汰されてゐます。

寺録脈々と記されております。

起こした頭鬼の沢院家肥前守あるが中興瑛七壇大那の出来上った。

この殊に地頭建内の一つ内の地で現在の新善光寺が出来上ったのであります。

内大概壱万三千、余坪静森に囲ら庭に大樅に囲ら庭説に大樅に囲ら庭説にふさわしい。

なっていまして、天然記念物

価値があるのは本堂と云ふ。

寺は現在取り沙汰に現住しています。

寺三十二ケ寺を取り沙汰に現住しています。

寺録脈々と記されております。

到るまで四十

広報室の窓から

今年は子年、俗に鼠の年といふ。増える事の著しいのを鼠算式といふがそれからゆけば亦増産の年であろう。

五年続きが六年続きの豊年と期待するわけである。

広報の編集同人も今年こそはと張り切って期待をもってやる考えです。

有線放送の完成もま近であり広報活動も本年こそ里の隅にまで町の事情が充分理解して戴く事ができると思います。

町民各位の遠慮なく御意見御希望も広報なればこそ御発表がいただける事と思います。

指導され、是正しつつよき光町の発展の一助ともと心掛け励みたい。

謹賀新年